

「教材は、買う時代から創る時代へ」をモットーに、今さまざまな教材を開発しています。今週完成させたのが「江の島地形の立体模型」です。

神奈川県藤沢市の「江の島」は、「葉山層群・大山層」「三浦層群・三崎層」「ローム層と軽石層」「海食台」「海食崖」「海食洞」「人工埋立地」など、さまざまな地質、地形が複雑に組み合わさって成り立っています。それを立体模型にして、巡検（フィールドでの地質や地形の学習）で配布することで、江の島全体の地形を実感しながら活動ができると思ったのです。

昨年度の巡検でも立体模型を作って中学生に配布しました。しかし、シリコン型に速硬プラスチックを流し込んで作ったので「白一色」でした。3Dプリンターでは標高別に色を変えられるので、今回は7色で成形してみました。主な地形の文字や、シーキャンドル（江の島灯台）、鳥居（江島神社）なども立体的に表現したので、ちょっと楽しい立体模型になりました。

国土地理院の地形図を元データとして、水平距離に対して垂直距離を約10倍に強調しています。模型の大きさは横88mmで、キーホルダーにはちょっと大きいのですが、一応金具も付けてみました。3月に実施予定の藤沢市の中学校の野外巡検で、生徒さんたちに1人1個配布する予定です。

